

会 議 要 旨

会議名	第3回町田市薬師池公園地域魅力向上計画懇談会	
開催日時	2013年11月18日〔月〕午前10時00分~午前12時00分（会議）	
開催場所	町田市役所 2-2会議室	
出席者	委員	池邊 このみ（会長）、秋山 綾、藤根 義信、吉田 敦、 吉田 隆、徳尾 和彦、岩澤 正、齊藤 喬、清水 滉常 （9名、敬称略）
	未来づくりプロジェクト	企画政策課3名、障がい福祉課2名、農業振興課1名、北部丘陵整備課2名
	事務局	公園緑地課長、公園管理担当課長、公園緑地課5名
公開・非公開	公開5名	
傍聴人数	2名	
議題	丘の駅（センターハウス）施設の機能について	
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会挨拶 2. 事務連絡 3. 丘の駅（センターハウス）施設の機能について 4. 丘の駅（センターハウス）施設の名称について 5. 次回の日程確認 	
資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第3回懇談会 次第 2. 第2回懇談会 会議要旨 3. （仮称）丘の駅（センターハウス）の施設機能（案） 4. （仮称）丘の駅（センターハウス）設置予定位置図 5. （仮称）丘の駅 参考イメージ資料 	

1. 開会挨拶

- ・会長より挨拶。

2. 事務連絡

- ・事務局より会議の公開について報告。
- ・傍聴者の入室について、委員全員の了解を取り、傍聴者入室。
- ・事務局より配布物の確認。
- ・議題の説明。

3. 丘の駅（センターハウス）施設の機能について

（委員）

- ・町田市の観光案内、本、インターネットを見て薬師池に来る人は多いが、薬師池に来ている人

に対して周辺を案内するところがない。

(委員)

- ・薬師池に来た人にその周辺に素晴らしいところがあることを知ってもらい、再度訪問してもらうことが重要。薬師池公園には案内所を、丘の駅には物販機能を設置してはどうか。

(委員)

- ・施設は総合的なものがよいと思う。情報や物を通じての地域の発信、また、物販も必要。情報の発信については、歩くルート、いわれ、自然、歴史などを発信してはどうか。
- ・ベビーカーなどを預けることができる施設などファミリー層や高齢者のための施設も必要ではないか。
- ・本地域は広いのでガイドウォークができるようにしたらよいと思う。
- ・体験工房やセミナーハウスは参加型にしてほしい。
- ・施設の設置予定地が薬師池と今井谷戸のバス停との間に位置しているので、バス停を予定地付近に設置してはどうか。

(会長)

- ・体験工房は当日来た人がその場で参加できることが必要だと思う。
- ・週末のみの臨時でも良いのでバス停を設置できると良い。

(委員)

- ・丘の駅をエリアに向けてのスタート地点にしてはどうか。

(委員)

- ・体験工房では焼き物をしてはどうか。焼き物を焼き始めてから焼き終わるまでは薬師池周辺を散策してもらい、その後、出来上がり品を持ち帰ってもらう。

(委員)

- ・飲食店について、町田市の野菜を中心に提供してくれるところに外注してはどうか。
- ・ドッグランが人気と聞いているので、検討してはどうか。

(委員)

- ・広い丘陵地形であるため、AEDや救急用具などのメディカル機能の設置を検討してはどうか。

(会長)

- ・近隣の医療機関との提携、連絡体制も必要ではないか。

(委員)

- ・薬師池や七国山に行って、地域の歴史や文化を勉強してもらい、自然に親しんでもらいたいので、学校で観察学習をしてもらってはどうか。
- ・若年層の母親が子供を連れて来ることができる、ふれあいサロンのような場を作ってはどうか。
- ・大賀ハスの焼酎や赤そばを主軸に広報活動をし、みんなに食べ飲みしてもらってはどうか。

(委員)

- ・施設の駐車場は何台ぐらいで考えているのか？

(事務局)

- ・決定ではないが、100台超。一部は大型バスも駐車できるよう考えている。

(委員)

- ・今の小学生は和式が使えないため、トイレは洋式にしてもらいたい。

(委員)

- ・盛岡市にある手作り村では、色々な種類の餡子から自分の好きなものを選んで団子につける体験がある。価格は100円で若干高いが、子供から高齢者まで一緒にできるため好評と聞いている。簡単に体験できるものと、陶芸のように時間をかけてやるものをいくつか織り交ぜることで、1日楽しめるようになるのではないかな。

(委員)

- ・薬師池地域のすべてを回るのはとても時間がかかる。電気自動車や軽量なバス、貸自転車を設けてもらえないか。市のアンケートでは、来場者は60代が多いとのことであり足腰も弱いのでガイドを付けて各地を回ってもらいたい。

(委員)

- ・自転車は歩行者とぶつかることが多いので難しいと思う。一般的には自転車専用のサイクリングロードを作ることが多く、コース限定になるかもしれない。

(委員)

- ・ベビーカーや車椅子なども借りられるものがあればよいと思う。

(委員)

- ・インフォメーションセンターの機能として、この地域にどのような動植物があるかなどの紹介や展示ができるようにしてもらいたい。

(会長)

- ・インフォメーションセンターの中に映像や音で実際に触れてみたいと触発されるようなものを考えてもよいと思う。

(委員)

- ・インフォメーションセンターの建物1つの中に色々な機能を入れてしまっただけではわけがわからなくなる。ここだけで難しいのであればファーマーズセンターを模様替えするなどしてもよいのではないかな。

(会長)

- ・ワンストップにすることにより、目的外の人にもふれる機会をつくることことができる。

(委員)

- ・建物はどれぐらいの規模を想定しているのか？

(事務局)

- ・規模は延べ床面積で約1000㎡。約300坪。

(委員)

- ・展示については、パネル展示だけだと大人も子供もあまり見ないと思う。名物となるガイドさんが居てその人が面白いから来るということもあるので、展示規模はあまり大きくしなくてもよいと思う。

(委員)

- ・薬師池地域全体のパンフレットを置いた案内所を設けることが大事だと思う。

(委員)

- ・町田市のセンターであるとともに観光のセンターでもあることを位置づけて情報を発信していくことが大事だと思う。
- ・ダリア、ぼたん、昆虫、そばなどを説明できる案内人のスペシャリストが居たらどうか。
- ・デイサービスを受けている高齢者が立ち寄れるようにしてはどうか。

(会長)

- ・名産品について、町田市の品と、薬師池のそれぞれの国の品を作ると面白いのではないか。
- ・子供の場合であるとともに高齢者のおもてなしの場として2～3時間楽しめる場が作れるとよいと思う。
- ・人を迎える地域になっていない。この場でしか食べられないものや、雨の日でも過ごせる施設やイベントが必要ではないか。

(委員)

- ・体験施設としては、昔、薬師池で人気のあった落ち葉を使った草木染めをはじめ、竹細工や竹炭細工など検討してはどうか。

(委員)

- ・季節や月替わりでイベントや体験ができると面白いかもしれない。
- ・町田の土で作る焼き物や、昔ながらの暦遊びを伝えるイベントはどうか。

(会長)

- ・公園の管理はおそらく指定管理者という形になると思うが、難しい点は地域の人とコミュニケーションがとれて自らメニューを考えて地域の色々なものを発見していく創造的な能力のある業者を選定できるかという点である。
- ・施設のオープンに向け、準備会を作ってはどうか。

(委員)

- ・物品販売はここではなくても鎌倉街道沿いの他の土地でもできると思う。北部丘陵なども含めて、ここに持たせたい機能と他に持たせてもよい機能があるのではないか。

(会長)

- ・単なる道の駅のような物販販売所になるのは望ましくない。焼酎やそばなどでここに来れば手に入るようなものがあつたほうがよいと思う。

(委員)

- ・農産物を売るのであれば他にも可能な施設はある。1ヶ所に色々な機能をたくさん入れることもひとつであるが、分散させることを検討してもよいのではないか。

(委員)

- ・市民がだれでも参加できる、苗圃を活かした機能を入れてもらいたい。

(会長)

- ・施設の機能に対する意見を取りまとめると、次のことを市に対して要望する。
 - －インフォメーションセンターやビジターセンターの機能を重んじること。それに付随したセミナーハウスや体験工房の運営を考えてほしい。
 - －飲食店については、地場の農産物やそばなどを主軸にし、どこにでもあるようなフード

- コートにはしないでほしい。
- ー売店やマルシェについては、地域を情報発信できる物に限定してほしい。
- ー休日に限定してもよいので直接施設に乗り入れができるバス停を設置してほしい。
- ー乳幼児を持つ母親と高齢者が一緒になって触れ合えるような休憩施設を設置してほしい。
- ー車椅子、ベビーカー、貸自転車などを設置し簡易に地域を散策できるようにしてほしい。
- ー焼き物などある程度時間がかかり滞在できるものを考えて、七つの国の中での滞在時間を多くできるようにしてほしい。
- ー丘の駅、七つの国の施設、ファーマーズセンターがどう連携するのかあるいはどう差別化するのかを再考してほしい。
- ーまずは地元の方々に施設を使ってもらい、薬師池・七国山の地域性や歴史を知ってもらうようにしてほしい。
- ードッグランなどの設置も検討してほしい。
- ー市の運営だけでは難しいと思うので、施設が完成する前のなるべく早い時期から準備会による検討を進めてほしい。総合的に対応できる組織を作って、地域と連携してほしい。それに対し市がどのようにバックアップし、市のシティーセールスや成長戦略にどう繋げるのかのあたりまで視野広く考えてもらいたい。

4. 丘の駅（センターハウス）施設の名称について

(会長)

- ・丘の駅は親しみやすいとは思いますが、独自性という観点から駅というのは若干平凡に感じる。七つの国の中心を担うような名称でも良いかもしれない。
- ・丘の駅は公園施設になるのか？

(事務局)

- ・公園の施設で検討している。

(委員)

- ・駅は少し時代遅れだと思う。

(会長)

- ・フードコートについて、この名称は魅力が半減し風格がなくなるように感じる。

(委員)

- ・丘の駅だけではあまりにも平凡。駅の名称の後ろに地域名を付けるのではないかと思うが、どのような地域名を付けるのか？

(事務局)

- ・地域名を付けることは考えていなかった。名称が長くなることもあり、薬師池や七国山を入れるかは悩みどころと考えている。

(会長)

- ・カタカナやひらがなの名称ではなく、新規のイメージがあって、そこに薬師池や七国山のような歴史的な風格があって、それでいて若い人にもわかるような名称がよいのではないか。

(会長)

- ・施設はいつごろオープンなのか？

(事務局)

- ・薬師池西公園の整備との兼ね合いもあるが、最短では2018年を予定している。

(委員)

- ・名称はセンター機能であることがわかり、地域全体を表現しており親しみやすいものにしたい。

(事務局)

- ・センターという意味合いとともに外から来た人への入り口としてふさわしい名称にしたい。

(委員)

- ・七つの国の名称について、ぼたん園は豪華なイメージがあるので華の国に、また、木の国は林の国でもよいのではないかと思う。

(会長)

- ・名称に対する意見を取りまとめると、次のことを踏まえた検討を市に要望する。

- －センター機能であることが名称からわかること
- －薬師池と七国山の地域全体を表す名称であること
- －楽しさ親しみやすさが伝わる名称であること
- －地域全体のスタート地点またはおもてなしの入り口としてふさわしい名称であること

5. 次回の日程調整

- ・第四回懇談会の日程は、2014年1月20日(月)午前9時30分から午前11時30分まで。
- ・第五回懇談会の日程は、2014年2月28日(月)午前10時00分から午前12時00分まで。

以上